

【2026 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等	
心理学的支援法		選択	2	3	前期	
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー		
瀧口 綾	B305	atakiguchi		水曜日 11:40～12:40		
授業の目的・概要	<p><目的>心理療法やカウンセリングを行うために必要とされる様々な理論や技法について、基本的な知識を学ぶことを目的とする。また援助的コミュニケーションや心の健康教育等に関する知識や技術を理解し、説明できることを目的とする。本講義は公認心理師資格に必要な科目として対応しているが、将来の職業選択に関係なく心の健康への知識及び心の悩みや問題を抱えた人への対人援助の基礎を理解し、科学的な援助方法について学ぶことを目的とする。</p> <p><概要>心理療法及びカウンセリングの基本的な知識や技法について理解するために、ワークシートやグループワーク等演習を行う。</p>					
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習)	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習	<input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実技	<input type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション	<input type="checkbox"/> ディスカッション・レポート <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク
学習上の助言	講義中に生じた疑問はそのままにせず積極的に質問し学びを深めて欲しい。					
教科書	教科書は指定しない。必要に応じてプリントを配布する。					
参考書	公認心理師標準テキスト 心理学支援法/編著:杉原保史、福島哲夫、東斉彰/北大路書房 公認心理師の基礎と実践 第15巻 心理学的支援法/編:大山泰宏/遠見書房					
外部教材	特になし。					
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針		
①	心理療法及びカウンセリングの理論や技法について説明することができる。			HC (1)、(5)		
②	心理療法及びカウンセリングの基本的な姿勢を身に付けることができる。			HC (5)		
③	援助的コミュニケーションについて理解し説明することができる。			HC (1)、(6)		
④	心の健康教育について基本的な知識を説明することができる。			HC (5)		
授 業 計 画						
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)			
1	オリエンテーション、心理学的支援法とは何かについて学ぶ。	講義	授業内容の復習を行う。		4	
2	心理療法とカウンセリングの発想と歴史について学ぶ。	講義	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。		4	
3	力動的理解にもとづく心理療法について学ぶ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。		4	
4	関係性の理解にもとづく心理療法について学ぶ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。		4	
5	状況と行動の理解にもとづく心理療法について学ぶ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。		4	
6	システムに働きかける支援について学ぶ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。		4	
7	プレイセラピーについて学ぶ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。		4	
8	援助的コミュニケーションについて学ぶ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。		4	
9	コミュニティでの心理学的支援の概観について学ぶ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。		4	
10	訪問による支援について学ぶ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。		4	
11	教育の中での心理学的支援について学ぶ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。		4	
12	コンサルテーションについて学ぶ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。		4	
13	心の健康教育と予防教育について学ぶ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。		4	
14	心理学的支援とスーパービジョンについて学ぶ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。		4	
15	総括を行う。	講義	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。		4	

【2026 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照						
達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		70	0	0	0	30	100
総合力指標	知識・技術力	10	0	0	0	5	15
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	10	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	5	5
	発表・表現伝達する力	10	0	0	0	0	10
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	10	0	0	0	10	20
	問題を発見・解決する力	20	0	0	0	0	20
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	定期試験を実施して評価する。試験は、授業で学んだ知識の理解及び授業内容に関する自分の意見を述べた上で、考察を行う問題を出題し、評価する。			後日試験の総評を掲示し、必要に応じて個別に解説を行う。	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	毎回授業の終わりにリアクションペーパーの提出を求める。理解したこと、疑問に感じたこと及び自分の考えなどについて記述する。			次回の講義の初めに、前回のリアクションペーパーについてコメントし解説する。	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	なし						
教員の実務経験	教育相談室及びクリニック、特別支援学校等での発達支援等の現場経験があり、臨床心理士及び公認心理師として 25 年の臨床経験を有する。						
実践的授業の内容	臨床心理士及び公認心理師としての専門性とこれまでの経験を講義に活かしながら、心理学的支援法に関する基本的知識を教授する。						
そ の 他	生成 AI (ChatGPT 等) を使用した課題作成は認めない。発見した場合は、評価を減じる。 教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は対面授業の参加を認めない。						